

平成20年4月10日

日本洋紙板紙卸商業組合
理事長 竹尾 稠 殿

日本製紙連合会
会長 鈴木正一郎

再生紙の表示制度と古紙パルプ等配合率検証制度について

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、弊連合会に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般の多くの会員企業による古紙パルプ配合率未達問題に関しましては、貴会及び貴会加盟の多くの企業の方々などに多大な混乱とご迷惑をおかけいたしましたことにつき、深くお詫びを申し上げます。

こうしたことを二度と起こさないために各社がそれぞれ行う再発防止策等に加え、業界としてできることは何かとの観点から、弊連合会に「古紙配合率問題検討委員会」を設け、外部有識者の意見をも参考に検討を進めてまいりましたが、今般その検討結果をまとめましたのでご高覧いただければ幸いです。

検討項目中、古紙パルプが配合された紙の取引を適正に行うための「古紙パルプ等配合率の検証」及び「再生紙の表示」の両制度につきましては、弊連合会会員企業が着実に実行することは勿論であります。貴会及び貴会に加盟しておられます会員の皆様にもこの両制度の趣旨をご理解いただき、特に表示制度につきましては貴会会員企業やお取引先の企業の方々にもご使用いただく方向でご検討いただければ幸いです。

一日も早く皆様方の信頼を回復できますよう、弊会及び弊会会員企業は上記両制度の実施など再発防止に努めるとともに、引き続き古紙利用の拡大など環境への貢献策を推進してまいり所存でございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具